

# 研究実施のお知らせ

2021 年 12 月まで当院でアグレッシブ NK 細胞白血病と診断された全ての患者さんへ

2021 年 10 月 8 日 ver.1.0

## 研究課題名

アグレッシブ NK 細胞白血病に関する多機関共同後方視的研究

## 研究の対象となる方

2021 年 12 月まで当院でアグレッシブ NK 細胞白血病と診断された全ての患者さんが本研究の対象となります。

## 研究の目的・意義

アグレッシブ NK 細胞白血病 (Aggressive NK-cell leukemia, ANKL) は日本を含む東アジアで比較的頻度の高い稀な白血病です。先行研究である ANKL07 試験では、1985 年から 2007 年に診断された ANKL 患者さんを対象として、治療内容、生存期間などの検討がなされましたが、非常に進行が速く予後の悪い疾患であることが分かりました。その後、有効な治療法の開発が国内外で進み、現在の治療法は昔とは変化していますが、2008 年以降、本邦の ANKL に関するまとまった報告はありませんでした。そこで今回の研究では、主に 2008 年から 2021 に診断された ANKL 患者さんを対象として、ANKL の発症割合や近年の治療法や予後の実態を明らかにすることを目的とします。2007 年以前に診断されて ANKL07 試験に登録されていない ANKL 患者さんについても今回同時に調査を行います。また先行研究との比較検討も行い、ANKL の治療法や予後の年次推移を把握し、今後のより良い治療法の開発を目指しています。

## 研究の方法

本研究では日本全国の施設で診断された ANKL 患者さんに関する臨床所見、検査結果、治療内容、治療効果について、診療記録を用いて調査を行います。既存のデータのみを用いた研究であり、本研究への参加にあたり新たに検査を行うことはありません。診断に用いた標本は匿名化してから事務局に送付していただき、診断の妥当性、腫瘍細胞形態の評価を行います。以前の ANKL07 試験の調査対象であった患者さんに関しては、2008 年以降の追跡生存調査を行います。参加施設から収集した情報を事務局で解析し、本邦の ANKL 患者さんの実態を明らかにします。

本研究では診療記録から以下の情報を抽出し使用させていただきます。

- ・患者さんに関する情報：年齢、性別、全身状態、症状の有無

- ・ 診断に関する情報：診断日，先行疾患の有無，血液・骨髄検査の結果，腫瘍細胞のマーカー，病変部位
- ・ 治療に関する情報：治療内容，治療効果など
- ・ 移植に関する情報：治療内容，治療効果など
- ・ 生存に関する情報

各医療機関，研究事務局間の患者情報のやりとりは，郵送あるいは直接手渡しすることを原則とします。登録時に，患者ごとの患者識別番号を付与して調査用紙に記入いただきます。全国の施設からいただいた情報は匿名化の状態で，インターネットに接続できないパソコン上で保管し，研究以外の目的での利用は行いません。調査結果の公表に際しては学会や論文等で行い，個人の特定は不可能とし，患者さんへ不利益を来さないように留意します。

## 研究の期間

2022 年 1 月（研究許可日）～2025 年 9 月

## 研究組織

この研究を行う研究者、研究機関は次のとおりです。

### 研究代表者（総括責任者）

鈴木 律朗

島根大学医学部 血液・腫瘍内科学

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2308

### 研究事務局

藤本 亜弓

島根大学医学部附属病院 血液内科

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

TEL: 0853-20-2308

### 参加研究機関

[研究機関]

東北大学病院

秋田大学医学部附属病院

信州大学医学部附属病院

群馬大学医学部附属病院

[研究責任者]

福原 規子

亀岡 吉弘

中澤 英之

横濱 章彦

京都第二赤十字病院  
名古屋大学医学部附属病院  
東海大学医学部  
九州がんセンター  
大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
藤田医科大学病院  
神奈川県立がんセンター  
日本赤十字社和歌山医療センター  
新潟大学大学院医歯学総合研究科  
神奈川県立がんセンター  
豊橋市民病院  
神戸市立医療センター中央市民病院  
自治医科大学附属さいたま医療センター  
神戸大学医学部附属病院  
愛育病院  
日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院  
東京医科歯科大学医学部附属病院  
大阪市立大学大学院医学研究科  
亀田総合病院  
九州大学病院  
京都大学医学部附属病院  
大分大学医学部附属病院  
釧路労災病院  
大阪市立総合医療センター  
生長会 府中病院  
京都府立医科大学  
熊本大学病院  
北海道大学病院  
長崎大学病院  
NTT 東日本関東病院  
順天堂大学医学部附属順天堂医院  
愛媛大学医学部附属病院  
山形大学医学部附属病院  
国立がん研究センター中央病院  
岩手医科大学附属病院  
富山大学附属病院  
横浜市立大学附属総合医療センター  
静岡県立静岡がんセンター

魚嶋 伸彦  
島田 和之  
幸谷 愛  
崔 日承  
前田 猛  
入山 智沙子  
高橋 寛行  
直川 匡晴  
瀧澤 淳  
田中 正嗣  
井本 直人  
平本 展大  
神田 善伸  
薬師神公和  
泉山 康  
西田 徹也  
吉藤 康太  
中前 博久  
末永 孝生  
加藤 光次  
諫田 淳也  
緒方 正男  
宮城島 拓人  
林 良樹  
森口 慎  
黒田 純也  
徳永 賢治  
後藤 秀樹  
加藤 丈晴  
臼杵 憲祐  
安藤 美樹  
竹中 克斗  
石澤 賢一  
伊豆津 宏二  
伊藤 薫樹  
佐藤 勉  
藤澤 信  
池田 宇次

## 結果の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。また、結果の透明性の確保のため、解析に用いた個別データを公開する可能性もありますが、その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。また個々の患者さんに対する結果の返却は原則行いません。重大な病気と関連する遺伝子異常（偶発的所見）を発見した場合も、精度に欠ける情報である可能性があるため、原則として個別の結果返却は行いません。ただし、精度上の問題を考慮してもなお、その結果が研究対象者本人やその家族にとって重大であり、その結果を知らせることが有益であると考えられ、倫理委員会においても同様と判断された場合に限り、研究代表者にその旨連絡が行われます。その際は各施設責任者にその旨連絡を行い、研究対象者本人や家族に対して結果の説明を受けるかどうかについて各施設責任者より問い合わせを行います。結果説明を希望された場合は、各施設責任者と必要な場合は各施設の遺伝カウンセリングで対応を行います。

## 試料（検体）・情報の利用停止

ご自身の試料（検体）・情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。その場合は下記の連絡先までご連絡ください。利用停止に伴い患者さんへの不利益が生じることはありません。なお、利用停止のお申し出は、2024 年 3 月までお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがありますのでご了承ください。

## 相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の試料（検体）・情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

担当医師： \_\_\_\_\_

施設研究責任者： 緒方 正男（おがた まさお）

施設住所： 大分県由布市挾間町医大ケ丘 1-1

施設連絡先： 097-586-6275